

# 第9回ユニットケア全国セミナー

## ユニットケアの原点に立ち返る

「その人らしさ」を支える小規模ケアに必要なもの

新型ユニットを徹底検証！！

人材不足をユニットケアはどう乗り切るか？

地域密着型サービスとユニットケアの接点に迫る！？

主催 「第9回ユニットケア全国セミナー」  
実行委員会

期日 2007年9月8日(土)・9日(日)

会場 滋賀県立文化産業交流会館 (滋賀県米原市)



# 趣 旨

介護現場をなんとか変えたい、という思いから誕生したユニットケアは、2000年以降国の施策としても取り入れられるようになり、全室個室の流れとともに制度化され、スタンダード化されてきました。しかし、ユニットケアという言葉が定着し、多くの実践現場で取り入れられるようになるにつれ、本来ユニットケアが目指してきた、「そこに住まうお年寄りの思いをくみとり、一人ひとりのその人らしい暮らしを実現する」という理念が薄らいできているのではないか、という危惧を耳にするようになりました。

第9回目の開催となる今回は、ユニットケアの理念を実現するため、ユニットケアの原点に立ち返り、特に新型施設におけるケアを検証するとともに、介護現場が抱える課題である人材確保について議論します。

また、宅老所や共生ケアといった滋賀県で従来取り組まれてきた小規模ケアの実践とユニットケアとの接点を探り、施設ケアの今後の展開と可能性を展望します。



1 日目

9 月 8 日 ( 土 )

# Program

12:30 ~ 12:50 開 会

12:50 ~ 14:10 ユニットケアの原点を問い直す  
—ユニットケアはどうして生まれたか—

ユニットケアの取り組みは広がってはいるものの、その多くは全室個室・ユニット型の制度化にともなうもので、必ずしも本来のユニットケアの目的が理解されていない現状があります。今一度ユニットケアの原点に立ち返り、誰のための、何のためのユニットケアなのかを問い直します。

●パネラー	特養・清風荘 (滋賀県) 特養・同和園 (京都府) 児童養護・湘南学園 (滋賀県)	施設長 前 田 光 泰 副施設長 橋 本 武 也 専務理事 塚 本 秀 一
■コーディネーター	和歌山大学システム工学部	教 授 足 立 啓

14:10 ~ 14:25 休 憩

14:25 ~ 16:15 ユニットケアのケアを考える  
—ユニット型施設におけるケアのあり方徹底検証！—

従来型の施設とユニット型の施設で同じような介護をしていては、ユニットケアの利点は活かせません。ユニットケアならではのケアのあり方を現場の取り組みの中から検証します。ユニットケアになって、以前よりも大変になったと感じている皆さん、どう動いていいかわからないと悩んでいる皆さん、必見です！

●パネラー	特養・ハーモニー (栃木県) 特養・多賀清流の里 (滋賀県)	介護支援専門員 手 塚 建 リーダー 工 藤 猛
■コーディネーター	生活介護研究所	代 表 坂 本 宗 久

16:15 ~ 16:30 休 憩

16:30 ~ 18:20 ディスカッション  
「転機をむかえた介護現場 —人材不足を乗り越えるために—」

ユニットケアに限らず、利用者のその人らしい暮らしを支えるためには、より質の高い職員の確保、育成が欠かせません。しかし、景気回復の波を受け、介護現場では人材不足が深刻化している状況です。このセッションでは、利用者側の視点、実践者側の視点の双方から、介護現場の抱える運営課題を提起し、それらの解決に向けて政策的観点から議論します。

●パネラー	特養・ももやま (京都府) 滋賀県老人福祉施設協議会 特養ホームを良くする市民の会 国会議員	施設長 山 田 尋 志 副会長 藤 居 眞 代 表 本 間 郁 子 (調 整 中) (調 整 中)
■コーディネーター	大阪大学人間科学部	教 授 堤 修 三

19:00 ~ 21:00 懇 親 会 (彦根プリンスホテル)



## 分科会 1 「一人ひとりの暮らしを支えるために —ケアプランから考える—」

個別ケアは、暮らしを支えるケアです。しかし、今多くの施設で使われているケアプランは、暮らしを全体的に支えたり、その人の望みを必ずしも実現できる形にはなっていません。この分科会では「暮らしの支援」をキーワードに、ケアプランを考えます。

●パネラー	特養・足立新生苑（東京都）	地域サービス課係長	福井 宏美
	特養・さくら園（三重県）	主任生活相談員	金谷 龍太郎
	生活介護研究所	理学療法士	加藤 慶
■コーディネーター	ジャーナリスト		泉田 照雄

## 分科会 2 「暮らしのための環境づくり —ユニットケアで生活空間を創造する—」

ユニット型に改修してリビングや個室ができて、そこが生活感のない空間では、せっかくの環境を活かすことができません。落ち着いて過ごせる環境づくりを新型、従来型の両方の観点から提案します。

●パネラー	特養・花みづき寮（群馬県）	ユニットリーダー	倉林 典子
	特養・第二丹後園（京都府）	施設長	富田 智子
■コーディネーター	大阪市立大学大学院	准教授	三浦 研

## 分科会 3 「ユニットケアの担い手を考える —人材育成の視点から—」

ユニットケアを支えるのは現場のスタッフであり、介護の質を語るうえで、スタッフの質の向上は避けて通れない課題です。ユニットケアや小規模ケアで求められるスタッフ像を明らかにし、研修プログラムやネットワーク型の人材育成の仕組みづくりについて、先進事例を踏まえながら議論します。

●パネラー	特養・誉の松（滋賀県）	施設長	伊谷 満
	老健・きのこ老人保健施設（岡山県）	施設長	篠崎 人理
			（調整中）
■コーディネーター	滋賀県社会福祉協議会	事務局長	澤 和清

## 分科会 4 「地域とともにつくるユニットケア —サテライトケア・地域密着型サービスの可能性を探る—」

地域住民の暮らしを支えるための地域密着型サービス。ユニットケアが地域化する中で注目されるサテライトケアを、地域資源という観点から考え、地域における施設のあり方を探ります。

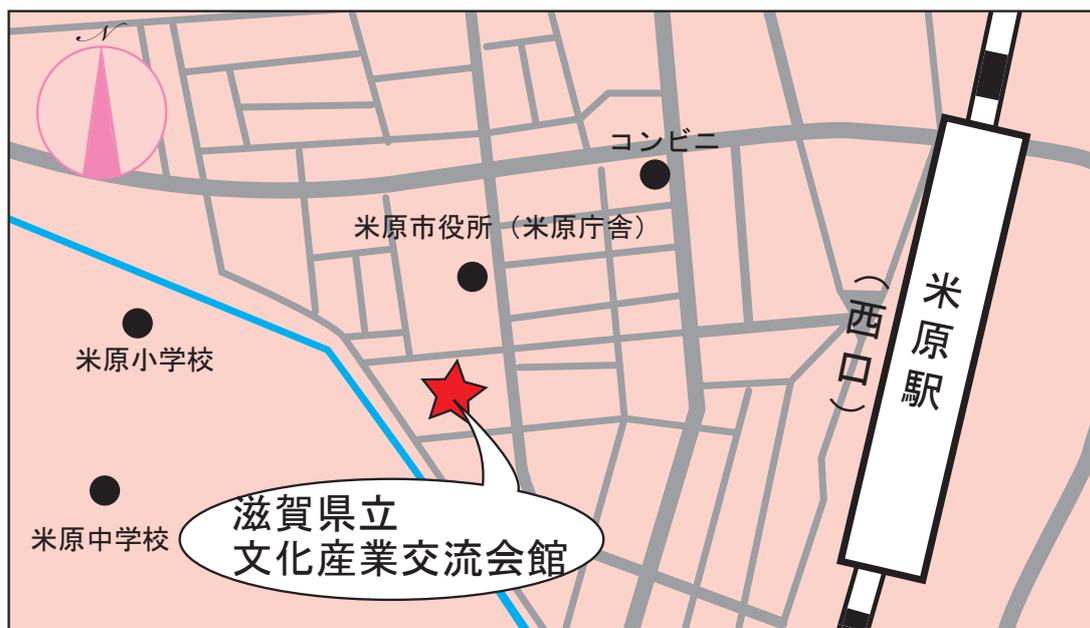
●パネラー	あったかほーむ・なのはなクラブ（滋賀県）	管理者兼コーディネーター	原 あゆみ
	特養・桐生園（滋賀県）	在宅サービス部長	林 伸明
	サテライト特養・サンビレッジ大垣（岐阜県）	施設長	桑原 陽
■コーディネーター	立命館大学大学院	准教授	天田 城介

## 分科会 5 「ユニットケアと地域密着型小規模ケア —自治体との協働から—」

地域密着型サービスの推進にあたっては、事業者と自治体の協働が欠かせません。小規模特養や小規模多機能型居宅介護など、施設ケアのあり方が変容し、地域との連携が欠かせなくなる中で、事業者と自治体との新たな関係づくりを模索します。

●パネラー	特養・京都老人ホーム（京都府）	施設長	三代 修
	近江八幡市高齢・障がい生活支援センター（滋賀県）	専門員	森村 敬子
	滋賀県健康福祉部元気長寿福祉課	参事	橋本 澄男
■コーディネーター	龍谷大学社会学部	教授	筒井 のり子

## 【会場案内図】



### 滋賀県立文化産業交流会館

#### \*アクセス

##### ○電車でお越しの場合

JR 新幹線・琵琶湖線米原駅西口より  
徒歩約5分

##### ○お車でお越しの場合

北陸自動車道米原インターより約10分  
(名神高速道路彦根インターより約15分)

##### ○住所

〒521-0016  
滋賀県米原市下多良二丁目137

##### ○TEL: 0749-52-5111

#### 定員

800人

#### 参加費

15,000円(当日資料代を含む)

※特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会員につきましては、  
1会員お一人様に限り12,000円になります。

#### 参加申込

(株)日本旅行仙台団体旅行支店

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目1-7 三和ビル3階

担当: 林、吾妻、鈴木、佐藤

TEL:022-261-4511 FAX:022-222-7570

E-MAIL: sendai\_danryo@nta.co.jp

※受付時間: 平日/ 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日/ 休み

#### お問い合わせ

「第9回ユニットケア全国セミナー」実行委員会

事務局/特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 担当者: 國分・高木

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207 (CLC内)

TEL: 022-719-9249 FAX: 022-719-9251

E-mail: unit@clc-japan.com URL: http://www.clc-japan.com